

政策シート 政策名 07 世界を含めた都市間競争を勝ち抜くシティプロモーションの展開

予算費目名 01 観光・シティプロモーション振興費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 01 産業経済

理想の姿 (30年後)	◆創造性と安定性を兼ね備えた浜松の産業が、世界経済を支えている。
政策の柱 (10年後)	◆輸送用機器関連産業に次ぐ新たなリーディング産業が集積し、持続可能な地域経済が確立している。 ◆来訪者が浜松の魅力とおもてなしを実感し、リピーターが増えている。 ◆多様な担い手による付加価値の高い農林水産業が行われている。

基本政策 01 世界の一步先を行く産業・サービスの創造

(2) 政策の概要(当年度(2022年度)実施内容)

多彩な魅力の発信による都市のブランディングを通じて、交流人口の拡大、移住・定住の促進、産品等の販路拡大、文化振興や企業誘致等、地方創生につなげる。
また、「新しい生活様式」に対応した支援を通じて、観光関連産業の振興及び地域経済活性化を図る。

(3) 関連するSDGsのゴール

⑧成長・雇用	⑫生産・消費	⑭海洋資源						
--------	--------	-------	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	80,077	3,011,789	1,741,236	1,346,354		
決算	75,769	1,166,294	2,152,840			
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	30,800	28,070	46,620	38,920		
年間経費(予算又は決算+A+B)	106,569	1,194,364	2,199,460	1,385,274		

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
			目標	実績	目標	実績	目標	実績
市区町村別魅力度ランキング(全国順位)	位	目標	42	40	38	35	32	30
		実績	44	45	59			
		目標						
		実績						

4 前年度(2021年度)政策評価

(1) 前年度(2021年度)実施内容

本市の強みであるものづくり、豊富な食材、歴史・文化、音楽等の魅力ある地域資源について、SNSやWEB広告などデジタルを用いた情報発信を行い、本市の知名度、魅力度の向上に努めた。
また、1億円キャッシュバックキャンペーン、ポイント還元事業、安全・安心な飲食店認証制度、三密対策補助金など「新しい生活様式」に対応した支援を実施し、コロナ禍の長期化で疲弊する地域経済の活性化に努めた。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗>	遅れている
<p>コロナ禍の長期化によって集客イベントへの出展などリアルプロモーションの機会が減少し、デジタルプロモーションを中心とした事業展開となった。 本市主催のイベント等についても、感染状況を踏まえて中止するなど計画どおりに事業実施することが出来なかった。 一方、1億円キャッシュバックキャンペーン、ポイント還元事業、安全・安心な飲食店認証制度、三密対策補助金など、本市独自又は他都市に先駆けた事業を実施し、市民生活の基盤となる地域経済の早期回復に取り組んだ。</p>	

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	シティプロモーション事業	○	○	○		991,024	958,404	3.7			2.4	
2	新しい生活様式支援事業	—	—	○		394,250	387,950	0.9				
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						1,385,274	1,346,354	4.6			2.4	

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 シティプロモーション事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

多彩な魅力の発信による都市のブランディングを通じて、交流人口の拡大、移住・定住の促進、産品等の販路拡大、文化振興や企業誘致等、地方創生につなげる。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2005	-	一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	○	(施策)	Ⅲ-2(2)ア						
重点戦略	○	(戦略項目)	42	43	198				

(4) 関連するSDGsのゴール

									⑧成長・雇用
	⑫生産・消費		⑭海洋資源						
事業とゴールの関連性	シティプロモーションの展開による都市ブランドの確立により、「訪問したい」「住んでみたい」と「選ばれる」都市になることで、雇用創出、地方の文化振興・産品販促につながる観光業を促進し、持続可能な経済成長へとつなげる。								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	80,077	2,007,288	1,094,829	958,404		
	決算	75,769	554,664	1,714,314			
	国・県支出		413,893	1,404,160	870,087		
	市債						
	その他	9,010					
	一般財源	66,759	140,771	310,154	88,317		
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	30,800	27,020	39,620	32,620		
人工	正規	3.6	3.3	4.7	3.7		
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	2.0	1.4	2.4	2.4		
年間経費(予算又は決算+A+B)		106,569	581,684	1,753,934	991,024		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
市区町村別魅力度ランキング(全国順位)(位)	Ⅲ-2(2) ア	42、 43、198	目標	42	40	38	35	32	30
			実績	44	45	59			
サポーターズクラブ会員数(人)			目標	1,450	1,500	1,550	1,600	1,650	1,700
			実績	1,509	1,515	1,514			
市区町村別認知度ランキング(全国順位)(位)	Ⅲ-2(2) ア		目標	15	25	23	20	17	15
			実績	28	31	44			
市区町村別認知度ランキング(県内順位)(位)			目標	1	1	1	1	1	1
			実績	3	2	3			
			目標						
			実績						

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

- ① デジタルマーケティングの手法を活用したシティプロモーション
 - ・動画を中心としたコンテンツの制作、デジタル分野を活用した発信、データによる効果検証
 - ・SNS発信事業(代行運用等によるアカウント周知、集客)
- ② 企業連携シティプロモーション
 - ・日本航空株式会社と連携した事業として、市内飲食店等の従業員を対象としたおもてなしセミナーを実施した。
 - ・株式会社danceearthと連携した事業については、ダンス教育事業を市内2中学校で実施するとともに、SDGS教育カリキュラムを市内2小学校で実施した。また、「男THE飯」と「浜松パワーフード」とコラボ企画「浜松どウマイ! 応援団」の公式Twitterで浜松パワーフードの魅力や浜松のグルメ情報などを発信した。
- ③ 音楽とビーチ・マリンスポーツを融合したイベント開催
 - ・親和性の高い「音楽」と「ビーチ・マリンスポーツ」等を組み合わせたイベントの開催を計画していたが、コロナの影響で中止となった。
- ④ その他シティプロモーション
 - ・ビーチ・マリンスポーツ推進事業(推進協議会運営、情報発信)
 - ・民間専門人材活用事業(都市ブランド戦略マネージャー活動費)
 - ・浜松城観光誘客及びプロモーション業務(家康くん、直虎ちゃん、武将隊の浜松城定期登城を通じた出世の街等のPR)
 - ・やらまいか大使事業、電子決済サービス等を活用したポイント還元事業 等



5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

- (1) 事業の成果と課題
 指標の達成度
 - ・認知度及び魅力度ランキングに関する指標は目標を上回ることができなかった。
 - ・これを受け、戦略的で効果的な情報発信の一層の強化が必要であると認識した。
 - ・今後、国内外への発信力のある企業や民間専門人材を活用したシティプロモーションを進めるとともに、デジタル分野を活用して本市の地域資源等を発信し、データにより効果を検証することで、より実効力のあるシティプロモーションを展開していく。
- (2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)
 - ・コロナ渦でリアルイベントが軒並み中止
 - ・新型コロナウイルス感染症の拡大状況に応じて経済対策事業を行うなど、デュアルモードを意識した事業展開を行っている。



6 事業の見直し (Action)

- (1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)
 大項目 小項目 / 事業費 人工
 SNSや発信力、影響力のある企業並びに有識者など、多様な媒体を活用したプロモーションを進めた。
- (2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)
 大項目 小項目 / 事業費 人工
 ・リアルイベントについては、コロナに対する感染予防対策を実施したうえで事業実施を行う。
 ・2020年度に引き続き、デジタルを活用したプロモーションを実施し、発信したコンテンツに対してどのような反応があったのか等の詳細なデータを計測、分析し、戦略的で効果的にシティプロモーションを展開する。

(管理番号)									
2022年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	01	01	07	01	001705000	01	観光・シティプロモーション課	北嶋 秀明	2022.7.1



7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

【2019-2022重点戦略項目 No42、43、198】

① デジタルマーケティングの手法を活用したシティプロモーション

- ・動画を中心としたコンテンツの制作、デジタル分野を活用した発信、データによる効果検証
- ・SNS発信事業(代行運用等によるアカウント周知、集客)

② 企業連携シティプロモーション

- ・日本航空株式会社と連携した旅行商品の共同開発や観光誘客イベント等を実施
- ・株式会社danceearthと連携したダンス教育事業、発信力やエンタテインメント力を活用したイベント等を実施

③ YouTubeを活用した魅力発信事業

- ・影響力のあるユーチューバーなどのインフルエンサーを活用した、本市の魅力の発信

④ その他シティプロモーション

- ・ビーチ・マリンスポーツ推進事業(推進協議会運営、体験イベント開催、情報発信)
- ・民間専門人材活用事業(都市ブランド戦略マネージャー活動費)
- ・浜松城観光誘客及びプロモーション業務(家康くん、直虎ちゃん、武将隊の浜松城定期登城を通じた出世の街等のPR)
- ・やらまいか大使事業、電子決済サービス等を活用したポイント還元事業 等

事業シート (事業名) 02 新しい生活様式支援事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

マイクロツーリズムの推進や3密対策に取り組む飲食店の認証等、「新しい生活様式」に対応した支援を通じて、観光関連産業の振興及び地域経済活性化を図る。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2020	-	一般会計	自治事務(その他)	-

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	-	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

									⑧成長・雇用
		⑫生産・消費							
事業とゴールの関連性	新型コロナウイルス感染症の影響長期化を見据え、国の専門家会議が示した「新しい生活様式」に対応するため、事業者に対する感染対策を促進し、市内の消費経済の回復を図る。								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算		1,004,501	646,407	387,950		
	決算		611,630	438,526			
	国・県支出		525,044	317,167	386,350		
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金		86,586	121,359	1,600		
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)			1,050	7,000	6,300		
人工	正規		0.2	1.0	0.9		
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)			612,680	445,526	394,250		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
				(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
はままつ安全・安心な飲食店認証 制度による認証店舗数			目標	-	1,000	1,300	1,500		
			実績	-	839	1,290			
ワーケーション拠点施設整備支援 数 ※令和3年度で事業終了			目標	-	2	2	-		
			実績	-	4	4	-		
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

- (1)3密対策事業者支援事業
 ・事業者が実施する新型コロナウイルス感染症の感染対策の取組や、はままつ安全・安心な飲食店認証を取得した飲食店のPRに関する取組に対し、事業費の1/2以内(1事業者最大300千円)を補助するもの。
- (2)マイクロツーリズム推進支援事業
 ・市民又は県民を対象とした旅行商品の利用に対する支援(宿泊を伴う市内旅行5,000円/泊)
- (3)多拠点居住推進事業
 ・テレワークパーク実証実験…官民協働で実行委員会(負担金)を運営するとともに、市内各祖に電源設備を整備。
 ・多拠点居住及びワーケーション拠点施設整備事業…宿泊施設が当地域のワーケーション誘客の拠点となるような環境整備等を行う際の補助。
- (4)サテライトオフィス宿泊プラン支援事業
 ・サテライトオフィス利用者を対象とした宿泊プランを提供する事業者に対し専用プラン宿泊費の1/2以内を補助(上限3,000円/日)。
- (5)はままつ安全・安心な飲食店認証制度
 ・感染症対策に積極的に取り組む飲食店を市が認証するもの。現地調査し、認証ステッカーを発行。



5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

- (1)3密対策事業者支援事業
 ・2021年4月1日～2021年12月24日までの実施で424件交付した。
- (2)マイクロツーリズム推進支援事業
 ・2021年3月8日～2021年5月21日までの実施で11,498人が利用した。
- (3)多拠点居住推進事業
 ・テレワークパーク実証実験:浜松城公園駐車場・館山寺ベイガーデン駐車場・船明ダム運動公園駐車場に電源設備を整備した。
 ・多拠点居住及びワーケーション拠点施設整備事業…4事業者(5施設)を採択し、ワーケーションの受入環境を整備した。
- (4)サテライトオフィス宿泊プラン支援事業
 ・2021年4月1日～2022年3月31日まで間、7,024件の利用があった。
- (5)はままつ安全・安心な飲食店認証制度
 ・飲食店からの申請に基づき1,290店舗を認証した(3月末時点)。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

経済活動を優先した「経済モード」と、市民の健康と安全を最優先にする「安全モード」の「2つのモード」をあらかじめ備え、社会状態に合わせて混乱なく円滑に切り替えることができる「デュアルモード社会」の構築に向けた体制づくりが必要である。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

本市の社会状態に合わせて施策を実施していく。

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

本市の社会状態に合わせて施策を実施していく。

(管理番号)									
2022年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	01	01	07	01	001705000	02	観光・シティプロモーション課	北嶋 秀明	2022.7.1

7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)



- (1)マイクロツーリズム推進支援事業
 - ・市民又は県民を対象とした旅行商品の利用に対する支援を行う。
- (2)多拠点居住推進事業
 - ・テレワークパーク浜松実現委員会の運営を継続するとともに、新たな電源設備の整備箇所の検討を進める。
- (3)デリバリープラットフォーム構築支援事業
 - ・本市デリバリープラットフォームに関する市民への周知及び利用促進
- (4)はままつLINE身守りシステム運用事業
 - ・新型コロナウイルスの感染拡大防止に資するシステムを運用
- (5)はままつ安全・安心な飲食店認証制度
 - ・認証業務を民間委託するとともに、更新業務の効率化を進める。
- (6)1億円キャッシュバックキャンペーン
 - ・感染症対策に積極的に取り組む市内飲食店への来店需要を喚起するためのキャンペーンを実施する。